

議会運営委員会協議題

日時：令和6年10月21日（月）

午前10時30分 開会

午前11時48分 閉会

場所：委員会室

1. 一般質問の通告等について（資料1・2・3、P1）

【杉江慎二局長】先回の議運で一般質問の通告に関する課題についての改善案に賛同いただきましたので、もう少し細かい点を整理しました。

資料1は、取り決め事項をまとめたもの、資料2は通告書の新様式とその記入例で代表質問や討論の通告もこの様式に変更するものです。

資料3は、これらの取り決めに合わせて先例を改正するもので、修正箇所は色が付けてあります。なお、補足映像は使用するものののみをご提出いただくようお願いします。

別添資料は、事務局で使用する通告の予約表です、20分単位で電話等の先着順により受け付けます。予約の方法については、より良い方法があれば改善していきたいと考えています。

資料2の様式について、従前のA4横様式から変更となる項目を説明します。1点目、「事前調整を行った課」は、一般質問をするにあたり、事前に調整した課名を記入してください。事前調整をしていない場合は空欄になります。2点目、補足映像の使用の可否について記入してください。3点目、主題の下に質問趣旨を書いていただきます。これまで通告書を見ただけでは、質問者がどのような意図で、何を問いたそうとしているかが不明瞭な場合がありますので、その点を明確にしたいとするものです。主題、質問趣旨、要旨、質問項目については、内容により行を増やしていただくことになります。

【岩田玲子委員長】通告書の新様式が示されました。通告の予約は、通告日の3開庁日前の午前9時から1開庁日前の午後5時までということです。他の事項も含め、説明のとおりでよろしいですか。

《 了承 》

【伊藤正興委員】質問項目はこのサイズに収めなければいけないですか。

【杉江慎二局長】この枠に収めるものではありません。行の増減は可能ですし、枠も増やすことはできます。

【芳金秀展委員】補足映像の提出期限が早まった理由を教えてください。

【杉江慎二局長】この度の通告書の見直しの中で、質問趣旨を追加することも含めて

ですが、一般質問の準備段階で補足映像についても考えていただくものと考えております。実際に期限が早まることとなりますが、事務局側が困るからということではなく、一般質問の全体枠で考えたことによるものです。

【芳金秀展委員】ヒアリングの際にいろいろ変わってくることもある中で、時間的にタイトだとは感じますが、趣旨は理解します。

【伊藤正興委員】通告時に質問趣旨を伝えることとなりますが、読み原稿はこれまで通り当局から求められるのですか。

【岩田玲子委員長】しばらく休憩します。

午前10時41分 休憩

午前10時43分 再開

【岩田玲子委員長】再開します。読み原稿については現時点では変わることはないということです。運用していく中で何かあれば協議していきます。

2. 議員定数について

【岩田玲子委員長】会派持ち帰りとしていましたので、皆さんからご意見を申し上げます。

【竹内功治委員】定数削減については賛否同数でした。出された意見としては、議員辞職により20名だったときでも議会運営に支障なかった。それぞれの地域の課題は、区長が対応できる。定数削減して議員報酬を増やすべきではないか。人口規模に対して、現在の定数は多くはない。定数改正の議論は時期尚早である。なり手不足解消には、議員の資質向上、議会の魅力を高めることが重要である。市民からは定数削減を求めるような声は聞いてない。人口が大幅に減少したら削減が必要である。このようなところで、まだまだ意見交換を行っている段階です。

【山田清一委員】現状で問題ないと思います。議員報酬のこと、選挙に出やすい環境にすること、議員の資質向上、などトータルで議論する必要があります。議員が減ると、男女比、世代構成も含めて、声が届きにくくなるのが懸念されます。議員になってほしい人と思える人が議員になってもらえるのが理想です。

【伊藤正興委員】通年議会にして議員報酬を上げていく中で、定数を削減する、仕事を増やして議員報酬を上げることも考えられます。定数削減を求める

市民の声が大きくなっていないのと、人口に比べて議員定数が多いわけではないことから、定数削減の議論を進めるのは時期尚早だと思います。

【中村和也委員】増減の結論は持っていません。定数削減については、そのような世論が出てきたときに考えればいいと思います。定数削減に関する懸念やメリットなどは他会派と同じような考えです。

【渡邊昭司議長】他の会派の意見を聞いて、ある程度議論をしていただきたいです。今後、視察もあるので福知山では議員定数について市民意見をきいているようなこともありますので、よく話を聞いてきてください。その後、また議論を進めていきたいと思います。議員定数の問題か、立候補を増やすのか、どのような視点で考えるかという問題もあります。主権者教育は必要ですが、すぐに立候補や投票率に結びつくかという点と難しいです。多くの立候補者がいる都市では議員報酬が高いが、一概に議員報酬を上げた方がいいのかということでもなく、半田市は人口規模で考えたら議員報酬は低いほうではない。議会内だけで話していると堂々巡りになってしまいそうなので、外部の方の意見も聞いた中で議論を進めていただきたいです。

【石川英之副委員長】他会派の意見は、創造みらい半田の中の現状維持とする意見と同じですので、こちらから質問はないです。逆に、定数削減すべきとした意見に対して、質問があればしてください。

【山田清一委員】定数削減について、市民から声は届いているのか。

【石川英之副委員長】届いてないですが、届いてからでは遅いと思っています。人口も減少していくことは予想できますので、先んじて議論していくべきです。そのような中で、なり手不足の問題は、議員報酬を上げるしかないと思います。

【芳金秀展委員】市民の声を実際に聞いています。声があるかないかは、あくまでも身近な人でしかなくて、全市民アンケートをとったわけではないから、市民の声を聞いたかどうかは重要ではないと思います。

【山田清一委員】議員になってほしい人がなれない環境を改善しなければならない。そういう人材に議員になってもらえる程に議員報酬を上げられるかという点、それはハードルが高い。ただ定数を減らせば議会は弱体化します。市長はじめ当局は牙城ががっちりとした体制だが、議会として敵対するわけではないが、議会は22人でさらに減るということを考えると、多様な意見ということも言われますが、議会の力＝市民の声と考えたら、議員になりたい人がなれる環境を目指すという議論が必要だと思います。

【渡邊昭司議長】最近の議長会ではいつもなり手不足が話題になっています。年金の充実についても要望を出している議会もありますが、なかなか議論が進んでいません。私は、議員報酬を上げたほうがいいと思っていて、上がらないのなら定数は現状維持でいいと思っています。

【中村和也委員】私は、定数削減してもいいという部分と、削減するリスクがあるというところもあって、明確に削減しようと言い切れない部分があります。議員になると収入が減るから議員にはなりたくないという声を聞きます。定数を減らしてもいいという意見も聞きます。議員が減っても議会運営に支障はないと思っています。ただし、定数を減らしたことで議会の質が下がる懸念もあります。人口減少などを考えると、歳出を抑えて有効的なお金の使い方をしなければという思いもあるので、定数削減には賛否両面があります。この問題に関しては、市民とともに議論していきたいと思います。

【石川英之副委員長】議員の資質の部分は人数が増えても減っても変わらないと思います。山田委員が言われたように、報酬を上げることで、優秀な人材がチャレンジできる土壌を作っていきたいです。ただ定数を減らさないうで議員報酬を上げることは無理ですので、議員報酬を上げる分、定数を減らす議論をしたいです。

【伊藤正興委員】まずは会派で議論を進めていただいてはどうでしょうか。

【岩田玲子委員長】この件については、視察先でもよく聞いていただいて参考にしたと思っています。視察後の振り返りとあわせて、議員定数についても議論して、一定のところで締めていきたいと考えています。また、議会内で議論を行ったことは、市議会だよりなり、ホームページなりで市民に伝えていきたいとも考えています。

3. 請願・陳情の手続きのオンライン化について（資料4、P 13）

【岩田玲子委員長】請願、陳情の手続きのオンライン化について、議会ICT推進委員会で検討していただきましたので、山田委員長から報告をしていただきます。

【山田清一議会ICT推進委員長】請願、陳情のオンラインによる提出を現行の運用に加えることを議会ICT推進委員会で決定しましたので報告します。
（・・・資料4に基づき説明・・・）

【岩田玲子委員長】ただ今の説明のとおりオンラインでも提出できるようにしていくことでよろしいですか。

《 了承 》

【杉江慎二局長】マイナポータルのぴったりサービスを利用していくということですので、これから事務的な手続きを進めてまいります。準備が整いましたらお知らせさせていただくとともに、ホームページ等で外向けに周知してまいります。

4. その他

(1) 議会と職員（主幹級以上）との交流会会計報告について（資料5、P16）

【杉江慎二局長】会計報告は資料のとおりです。残金は次回に繰り越します。

【岩田玲子委員長】説明のとおりです。

(2) 職員の軽装勤務の通年化に向けた試行について（資料6、P17）

【杉江慎二局長】当局から、年間を通じて通年でのノーネクタイ等軽装勤務を試行実施する旨の報告がありました。時期としては、クールビズ期間が終わる令和6年11月1日から令和7年3月31日ということで、特段の支障がなければその後も本格実施となる予定です。当局側は、本会議、委員会等に参加する職員は、ネクタイ、上着を着用する方針ですが、それを議会側に求めるわけではありません。

【渡邊昭司議長】当局側は、議会は社会通念上必要とされる場合に該当するという判断をされたのだと思います。それでは議会側はどうしますかということです。

【岩田玲子委員長】しばらく休憩します。

午前11時18分 休憩

午前11時29分 再開

【岩田玲子委員長】再開します。議会としては、年間を通して軽装、ノーネクタイでもよい、ということによろしいですか。

《 了承 》

【渡邊昭司議長】そのように当局に報告します。今後、式典などのスーツ、ネクタイ着用が必要な場合などは、指示を出させていただきます。

【杉江慎二局長】先例には「５月から１０月までの諸会議では、ワイシャツ、ネクタイで出席することができる。」とあり、事例・運用等の欄には、平成１７年度以降「クールビズ推奨するため、ノーネクタイとした。」、平成２３年度から「公式ポロシャツで出席することができる。」旨が記載されています。これらについては改正し、後日ご提示します。

(３) カスタマーハラスメント対策について（資料７、Ｐ１８）

【杉江慎二局長】今年６月頃、カスタマーハラスメント対策の議論をした際に、窓口等への貼り紙などによる啓発を行おうということになっていました。当局が資料のとおり案を作成してくれました。半田市と半田市議会の連名になっています。皆様のご了承がいただければ、１１月から実施していきたいと考えています。議会事務局の窓口にも貼りたいと思います。

【岩田玲子委員長】このとおり実施していくことでよろしいですか。

《 了承 》

(４) 半田工科高等学校との交流会について

日時 令和７年１月１５日（水）午前

テーマ等、詳細は未定

【岩田玲子委員長】議会ＰＲ委員長の芳金委員から説明をお願いします。

【芳金秀展議会ＰＲ委員長】県立高校３校に打診し、半田工科高校と話が進んでいます。（・・・説明・・・）できれば全議員にご参加、お手伝いをいただきたいです。場所は半田工科高校の１００名ほど入れる会議室で、都市工学科３年生３８名とのグループワーク等を行うことになります。少し専門性あるものにも踏み込めたらと思っていますので、事前に知識を入れていっていただくなどをお願いするかもしれません。

【岩田玲子委員長】準備の都合もあると思いますので、参加できない方は、１０月２８日（月）までに事務局へご連絡いただきますようお願いします。

【渡邊昭司議長】多くの議員にご参加いただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

(５) その他

- ・ 自動販売機の撤去について

【杉江慎二局長】 5階フロアに飲み物の自販機が2台設置されていましたが、10月18日をもって撤去されましたのでお知らせします。採算性の問題によるものだそうです。

【岩田玲子委員長】 この後、視察に向けての課題の共有とか方向性の確認をしたいと思います。委員と副議長はこのままお残りください。しばらく休憩します。

午前11時36分 休憩

午前11時38分 再開

【岩田玲子委員長】 再開します。閉会中の調査テーマについて、議会事業評価について、視察時のポイント等を共有したいと思います。しばらく休憩します。

午前11時39分 休憩

午前11時47分 再開

【岩田玲子委員長】 再開します。それでは視察ではよろしくお願いします。他に何かありませんか。

《 発言なし 》